

市役所 開庁イベント開催

長く愛され、親しみやすく使
やすい市役所を目指して

5月7日の市役所新本庁舎開庁を記念して新本庁舎で開庁イベントを開催します。

当日は市役所内を開放して、多くの催し物が行われます。ぜひ、お出掛けください。

- 日時 ①5月23日(土)
午前10時～午後6時30分
- ②5月24日(日)
午前10時～午後6時

- 場所 市役所新本庁舎(豊科6000番地)
- 内容 ▷オープニングセレモニー▷市内中学生吹奏楽の演奏▷ぬかくどごはんの提供▷友好都市ブース▷FM公開生放送▷市長、議長の椅子での写真撮影▷庁舎に使用したヒノキ材を利用したマイ箸づくりほか。イベントの詳細は、総務課へお問い合わせください(市ホームページにも掲載します)。

☎本庁舎内総務課 (TEL 71・2000(代) FAX 71・5000)

クラムザッハの 姉妹都市 皆さんが安曇野を訪れます

姉妹都市オーストリア・クラムザッハ町の皆さん(24人)が5月23日から5日間安曇野市を訪れます。滞在期間中、市民の皆さんとの交流が行われます。

また、新本庁舎開庁イベントでは、同町チロル民族音楽団の「Gangalbachler」とあづみ野ジュニアフルートアンサンブル「ハピネス」の皆さんの共演による、チロルの伝統民族音楽のコンサートも行われます。

- 日時 ①5月23日(土)
午後4時30分～6時
- ②5月24日(日)
午後4時～5時30分



- 場所 新本庁舎1階ロビー
- 入場 無料

☎本庁舎内政策経営課都市交流係 (TEL 71・2402 FAX 71・5155)

注目情報 2

民間交流を深めて20年 国内7番目の友好都市

千葉県東金市と友好都市締結に調印

安曇野市・東金市 友好都市締結式



締結式の様子
写真左から宮下議長、
宮澤市長、志賀直温・
東金市長、石田明・
東金市議会議長

市では、千葉県東金市と国内7番目の友好都市として締結しました。締結式は4月5日、東金市役所で行われ、両市の市長、市議会議長が締結書にサインしました。当日は、両市から約70人が出席。記念品の交換なども行われ、今後の幅広い分野における交流を通じた両市の発展を誓いました。

東金市との交流は、平成7年、同市の子どもたちが旧堀金村に「あづみの探検隊」として訪れたことから始まり、平成24年1月には「災害時相互支援宣言」を締結。近年は、議会や地区役員、消防団などの交流や、両市の直売所で互いの物産の販売が行われるなど、友好が深まっています。



きずな
友好の絆が益々強く
結ばれ、末長い交流
を続けていきます

締結式であいさつする
宮澤市長 市長 宮澤宗弘

東金市とは、旧堀金村の時代、平成7年から住民同士の交流が続いております。特に「あづみの探検隊」では、毎年、青少年の皆さんが安曇野を訪れ、「第二のふるさと」として親しまれています。今回の友好都市締結は、20年におよぶ民間交流の成果が実を結びました。

昨年、市制施行60周年を迎えた歴史ある東金市は、千葉県山武地域の中心として、地域医療、地域産業の振興を核に都市基盤の形成に目覚ましい進化を遂げています。市として若い私たち安曇野市が同市から学ぶべきところは数多くあります。

今回の友好都市締結を機会に、市はもとより、両市民が行き交う中で友好の絆を益々育み、末長い交流を続けてまいります。

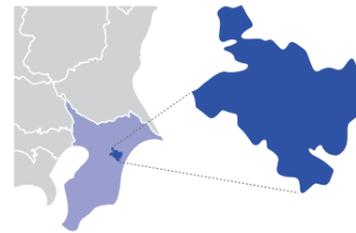
●友好都市締結までの経緯

平成5年7月	旧堀金村と東金市とで、地域間交流について合意
平成7年7月	東金市の子どもたちが、「第1回あづみの探検隊」として、旧堀金村で宿泊体験
平成14年4月	「りんごの木オーナー制度」開始。東金市民が安曇野のりんごの木のオーナーとして登録
平成24年1月	東日本大震災発生を機に両市間で「災害時相互支援宣言」を締結
4月	宮澤市長が東金市を訪問
9月	「あづみの探検隊」が、安曇野市役所を訪問
平成25年5月	東金・安曇野「絆」の会が、東金市の子どもたちのために「さんさん農場」を安曇野市内に開園
平成26年4月	東金市産業交流拠点施設「みのりの郷東金」に安曇野市コーナーを開設
7月	ほりがね物産センター組合の役員・運営委員が、「みのりの郷東金」等を視察
10月	東金市消防団幹部が、安曇野市消防団を訪問 東金市議会議会運営委員会が、安曇野市議会を視察
11月	東金市制施行60周年記念式典に安曇野市関係者が出席
平成27年1月	東金市の志賀市長が、新本庁舎竣工式に出席、友好都市締結について合意

●東金市の紹介



市章 市の木 ラカンマキ 市の花 ソメイヨシノ 山王台公園の桜



概要
面積 89.12km² 人口 60,201人
世帯 25,732世帯(本年4月1日現在)
年間平均気温 16.0度(平成23年)

東金市は、東京都心まで約60キロメートル、千葉県のほぼ中央部に位置しています。温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がり、丘陵地は山武杉の森林に覆われています。江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られ、宿場町と近隣の農産物が集まる問屋街とが形成されました。以降 東金は物流の集散地、九十九里地域の中心として発展しました。現在は、国道126号と千葉東金道路、圏央道をつなぐ交通の要衝となっています。